平成２９年度が始まりました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。ご笑覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all.　No.１

H29. 4. 2　「ジュニア打楽器アンサンブルコンクール」

道代表として出場した「打楽器アンサンブルコンクール」全国大会で、吹奏楽局が見事「最優秀賞」に輝きました。この賞は全国の上位３校のみに与えられる大変名誉ある賞（写真左）になります。右横の「さかな君人形」は、コンクールに来られていたさかな君が記念に本校へのメーセージを入れて贈ってくださいました。

右下のガラス盾は、昨年度末の「ブラバン・ディズニー・コンテスト」で、グランプリを受賞した際の表彰盾です。

幸先良いスタートとなりました吹奏楽局に今年度も目が離せません。

この度の遠征等でご支援いただいた保護者はじめ、関係者の皆様には、この場をお借りし厚くお礼申し上げます。

All for one, and one for all.　No.２

H29. 4. 6　「校庭もすっかり春！」

陽気に誘われ、グランドを一巡りしてきました。サッカーグランドでは早くも練習試合が行われています。隣接する野球グランドでは春の大会に向けたバッティング練習、プールサイドのテニスコートでは練習に先駆けてのグランド整備と、新年度の始まりを鮮明に感じさせる光景です。

何気なくグランドを横切ると、選手たちが練習や仕事の手を止め挨拶をしてくれます。ただのおじさんに見えていたはずなのですが、本当に気持ちの良い生徒ばかりです。

勝敗も大切ですが、様々な部活動を通して素晴らしい人間性を培ってくれていることに喜びを感じます。顧問の先生方にも本当に感謝です！

体育館では、バスケットボール、バレーボール、バドミントンなど室内の部が青春の汗を流しています。

今年度も、沢山の部活動が全道・全国で活躍してくれることを確信しています。

All for one, and one for all.　No.3

H29. 4.10　「着任式・始業式」

始業式に先立ち、新しく着任された１４名の教職員の方々を在校生に紹介しました。

着任者に挨拶をする堀江生徒会長さん

単位制の特色でもある選択科目を数多く配した教育課程により、教員の数も一般の学校より多くなっています。そのため、習熟度や少人数などきめ細やかな学習指導が可能になりました。

この度赴任された先生方は、様々な分野で数多くの実績をお持ちの方ばかりです。一日も早く本校に慣れていただき、力を発揮してくれることを大いに期待するところです。

始業式では、この一年で大きく成長した在校生に、改めて「挨拶が宿す力」について話をしました。

新年度は新たなクラスメイトや先生方との出会いから始まります。挨拶で互いの距離を縮め、様々な思いに触れる中で人間としての豊かな心を涵養して欲しいと思っています。

上学年となった姿が、とても頼もしく見えます！

All for one, and one for all.　No.4

H29. 4.10　「第２回入学式」

２８０名の希望に満ち溢れる新入生を迎えました。この子たちが永嶺高校の礎を築き、校風を彩ってくれることを思うと楽しみがこみ上げてきます。

小関 ＰＴＡ会長様と落合 同窓会長様からは、心温まるご祝辞を頂戴しました。また、学校評議員の利根川様やＰＴＡ副会長の堀江様にもご臨席を賜り、この場をお借りし、改めて心より厚くお礼申し上げます。

宣誓は１年７組の西山 そらさん。新入生を代表し、力強く立派に応えてくれました。

新入生の表情を見ていると、「新たな学校づくりは、教職員と生徒が共に力を合わせて築くもの」という着任式での 堀江　月 生徒会長の言葉が頭をよぎりました。とても印象に残る言葉です。

現在校生に、２８０名の新たな力が加わりました。生徒と力を一つにし、中学生からのあこがれの学校に、そして地域から愛される学校にしていきます！

All for one, and one for all.　No.5

H29. 4.10　「新年度の生活がいよいよスタートしました！」

まずは基本的生活習慣の定着です。生徒の安全な登校状況や高校生らしい身だしなみを確認するため、「玄関指導」を一週間にわたって行います。

特に新年度は自転車通学も一気に増えることから、安全な乗り方にも注意をはらいます。

この取組には生徒とのコミュニケーションを図るねらいもあります。表情を観察しながら新年度に向けた不安を少しでも取り除き、一人一人の心に寄り添いながらサポートをしていきます。

特に１年次生は何もかもが初めての経験となるだけに、集会形式で「本校のルール」や「安全な登下校」についての留意事項が説明されました。

上級生は春休み明け「課題テスト」です。いよいよ進路実現に向けた本格的な学習が始まります。時間を大切にし、学習が無理なく計画的に進められる支援も行っていきます。各種模擬試験がすぐ先に控えているだけに、生徒の表情は真剣そのものです。

All for one, and one for all.　No.6

H29. 4.11　「ウエルカム・コンサート」

吹奏楽局による恒例の「ウエルカム・コンサート」が、お昼休みに生徒ホールで行われました。着任された１４名の教職員と新入生への歓迎セレモニーですが、在校生もこのイベントを皆楽しみにしています。

お昼休みという限られた時間ではありましたが、軽快なポピュラーな曲にダンスを交えながら、最高のパフォーマンスを演じてくれました。先生方も新入生も、その迫力に驚きの表情を見せていました。

また、各部が飾りつけてくれた新入生への「歓迎メッセージ」はとても温かく、生徒ホールに花を添えています。

本校には、年次（学年）の枠を越えた交流が数多くあります。新入生の皆さんも先輩に気軽に話しかけてみてください。

All for one, and one for all.　No.7

H29. 4.11　「対面式」

生徒会が企画する新入生歓迎の「対面式」が７校時に体育館で行われました。本校には生徒が主体となる行事や活動が数多くあります。「自ら考え、自ら行動を起こす」ことで、上級生も日々大きく成長しています。

対面式では、全校生徒が「永嶺〇・×」クイズに挑戦。出題は「生徒と１年次担任団」、半ば「運」的要素もありまし

たが、正解が告げられる度に歓声とどよめきが起こりました。新入生の緊張も少しほぐれたことでしょう。

　最後に、１年次生を代表し７組の伊藤 大稀 君が「早く先輩たちのようにしっかり行動できるよう頑張ります」と応え、ここに全校生徒７１２名の大きな心の輪ができあがりました。

All for one, and one for all.　No.8

H29. 4.12　「生徒会オリエンテーション」

　生徒会主催による部活動紹介を兼ねた「生徒会オリエンテーション」が午後から行われました。生徒会執行部から「生徒会の役割や１年間の取組」について説明がなされた後、各部による活動紹介がありました。

　様々に工夫された各部のパフォーマンスに新入生も釘付け、真剣な眼差しで紹介に聞き入っていました。

　部活動は一般的に体育系と文化系に分かれますが、変わったところではＥＬＣ（Eiryo Learning Club）と言った「学習」に取り組む部活動もあります。

　放課後の時間が許すのであれば、興味関心のあることや個性や特技を、部活動を通して是非伸長してみてはいかがでしょう。

All for one, and one for all.　No.9

H29. 4.13　「キャリア集会」

　３学年対象の「キャリア集会」を開催し、受験モードに向けた学年準備を始めました。国公立進学希望者のセンター対策、私立難関大学の現状、推薦・ＡＯ入試の要件、１年間の受験の流れなど、資料を使いながら説明を行いました。

　既に３年生のほとんどが将来を見据え、進路に向けた受験対策を始めています。計画的な学習を実践していくには、入試本番までの日程をしっかりと掌握しておくことが大切です。直前になってから焦ってもけっして良い結果は出ません。夏までは部活動等もあります。無理のない計画の中で確実に力をつけていくために、「今」という時間を無駄にしないことです。粘り強い努力は必ず実を結びます。「頑張れ!３年生!!」

All for one, and one for all.　No.10

＊エイリョウ・アラカルト　「公務員模試」

　２年次の８月過ぎから、希望者を対象に「公務員模試」を実施しています。例年、役所

関係、道警、消防等を希望する生徒が２０名前後居り、早い段階から公務員特有の試験問題に慣れることがねらいです。

今年度も、２年次でほぼ月１回のペースで「模擬試験」を予定しています。事前に希望者を対象とした「公務員ガイダンス」や「適性検査の練習会」を行い、結果分析後は進路担当者や担任との面談を通して、次の対策を練っていきます。

３年生では１０数回の「模擬試験」を実施し、本番直前では放課後の特別講習や面接指導で万全な対策を講じます。

模擬試験の有効性は「繰り返す」ことにあります。受けるだけでは大きな力にはなりません。できなかった問題を繰り返し解くことで、確かな力を定着させることが重要です。

本校では進路指導部を中心に個々への対策指導をきめ細やかに行っていきます。

All for one, and one for all.　No.11

H29. 4.18　「ケイタイ安全教室」

「インターネットや携帯の功罪（光と影）」について理解を深めました。既に多くの高校生が活用しているＰＣやスマホ、もはや日常生活に欠かすことのできないコミュニケーションツールにもなっています。

しかし、恩恵が多い反面、「ネット依存」「ネットいじめ」「誘い出し・なりすまし」「ネット詐欺」などのトラブルも多発しているのが現状です。誰もが、ちょっとした過ちから加害者にも被害者にもなり得る「ネット」時代の恐怖・・・！

今日は「ｅネットキャラバン」から、講師に 墓田 裕幸氏をお招きし、様々な被害に合わないための「安心・安全な利用法」についてお話を伺いました。映像を交え、身近な事象を例に挙げての丁寧でわかりやすい説明に、生徒たちもトラブルに巻き込まれない適切な使い方を学んだことと思います。

「便利さ」と隣り合わせにある「危険」への振り返り、一歩立ち止まって考えてから行動に移すことの大切さを改めて学ぶことができました。

All for one, and one for all.　No.12

H29. 4.20　「自転車点検」

自転車通学解禁に伴い「自転車点検」が一斉に始まりました。冬期間使用していなかった自転車には思わぬ故障があるものです。

点検項目は、「ライトの点灯」「ブレーキの確認」「カギ・反射板・永嶺ステッカーの有無」など多岐にわたり、教職員と生活委員がクラス毎に一台一台を念入りに点検しました。順番を待つ生徒は少々肌寒いかもしれませんが、乗りはじめが何より肝腎、事故が起きてからでは取り返しがつきません。生活委員の皆さん、大変お疲れ様でした！

All for one, and one for all.　No.13

H29. 4.22　「公開授業」

多くの保護者の皆様が「公開授業」参観にご来校くださいました。授業公開はこうした「公開日」に限らず常に参観が可能ですので、中学生や地域の方々にも高校の様子を垣間見て欲しいと思っています。

この日は土曜日でＰＴＡ総会も兼ねていたことから、予想以上の来校者がありました。

ご家庭とはまた違うお子様の表情に驚かれた方も多かったのではないでしょうか。子どもたちは日々成長し、様々な場面でいろんな表情や行動を顕します。保護者の皆様にも、その成長過程を是非見ていただきたいと思います。

学校行事、講演会、ガイダンスなど、生徒と同じ環境を見聞し体感することで、親子の絆や心のつながりがより深まるものと確信しています。できる限り学校に足を運んでいただき、お子様の高校生活を共に支えていただくことをお願いします。

All for one, and one for all.　No.14

H29. 4.22　「ＰＴＡ総会＆学級懇談」

公開授業後の「ＰＴＡ総会」では１００名以上の保護者の方にお集まりいただき、事業計画や予算案等についてご審議をいただきました。心より感謝申し上げます。

生徒の成長には学校の活性化が不可欠であり、ＰＴＡはその支柱を担う組織であります。一人でも多くの方に関心を持っていただき、様々な立場からのご意見やご要望をお聞かせ願えればと思っています。

この日の審議の目玉は「ＰＴＡ組織」の再編です。これまで別組織として運営されてきた「ＰＴＡ」と「進路指導父母の会」の一本化を図り、規約も一新することで、仕組みをよりわかりやすく明確にしました。

また、役員の名称や職務内容を一部変更し、活動内容の合理化も図りました。

本総会で、堀江 裕樹 氏が新ＰＴＡ会長に選出され、学校の実状に合致した「ＰＴＡ」がスタートしました。今後とも皆様のご理解とご協力を何卒お願いします。

新ＰＴＡ本部役員

All for one, and one for all.　No.15

H29. 4.22　「永嶺を語る会」

永嶺高生としての主体的活動について考える「永嶺を語る会」が、ＰＴＡ総会と並行す

る時間帯で別室にて行われました。生徒会と代議員４６名が集い、「学校祭のあり方」と「被災地へのボランティア活動」について話し合いました。

　ボランティアは、これまでも駅舎清掃、花いっぱい運動、募金活動など様々な取組を継続していますが、昨年の熊本地震を見聞する中での「被災地の高校生」に対する強い思いが今回の話し合いのきっかけになったようです。

　生徒自身が課題を見つけ、自ら考え、具体的な行動を起こすことは、将来をたくましく生きていく上で必要な能力です。この会が単に話し合いで終わるのでなく、より具体的な企画として実現されることを大いに期待したいものです。